レポートのスケジュール設定

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/reporting/concept_schedule_reports.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

レポートのスケジュール設定 . . . 1
- Active IQ Unified Manager でレポートをスケジュールする . . . 1
- レポートをスケジュールする . . . 1
  - Active IQ Unified Manager でレポートをスケジュールする . . . 1
  - Active IQ Unified Manager でインポートされた .rptdesign レポートをスケジュールする . . . 3
- レポートのスケジュールを管理する . . . 4
  - Active IQ Unified Manager でレポートスケジュールを管理する . . . 4
  - Active IQ Unified Manager でスケジュールされたレポートを編集する . . . 4
  - Active IQ Unified Manager でスケジュールされたレポートを削除する . . . 5

レポートのスケジュール設定

Active IQ Unified Manager でレポートをスケジュールする

再利用してレポートとして共有したいビューができたら、Active IQ Unified Manager を使用してスケジュールを設定できます。スケジュールされたレポートを管理し、各レポートスケジュールの受信者と配信頻度を変更できます。

Unified Managerでは、ほとんどのビューやインベントリページをスケジュール設定できます。例外としてイベントがあり、これらはCSVファイルとしてダウンロードできるレポートですが、イベントの再生成や共有をスケジュールすることはできません。ダッシュボード、お気に入り、設定ページをダウンロードしたり、スケジュール設定したりすることもできません。

Active IQ Unified Manager 9.8以降では、ビューをMicrosoft® Excel形式でダウンロードしてカスタマイズできます。複雑な並べ替え、フィルタ、ピボット テーブル、グラフなど、Excelの高度な機能を使用できます。カスタマイズしたExcelレポートに問題がなければ、Excelファイルをアップロードして、レポートの定期的な生成時や共有時に使用できます。

組み込みのビューとカスタマイズしたビューはスケジュール設定できます。送信するファイル タイプとしてCSV、PDF、またはXSLXを選択できます。初めてスケジュール設定したときにレポートをダウンロードして自身を唯一の受信者として割り当てると、受信者にレポートがどう表示されるかを確認できます。

レポートをスケジュールする

Active IQ Unified Manager でレポートをスケジュールする

スケジュールを設定して定期的に生成および配布するビューまたはExcelファイルを決定したら、レポートのスケジュールを設定できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。
- レポートエンジンがUnified Managerサーバーから受信者リストにレポートをメール添付ファイルとして送信できるように、一般 > 通知 ページでSMTPサーバーの設定を構成しておく必要があります。
- 生成されたEメールによる添付ファイルの送信を許可するよう、Eメール サーバを設定する必要があります。

次の手順を実行して、ビューに対して生成するレポートをテストし、スケジュール設定します。使用するビューを選択またはカスタマイズします。この手順ではネットワーク インターフェイスのパフォーマンスを表示するネットワーク ビューを使用しますが、任意のビューを使用できます。

手順

1. ビューを開きます。この例では、LIFのパフォーマンスを表示するデフォルトのネットワークビューを使用します。左側のナビゲーションペインで、*ネットワーク > ネットワークインターフェイス*をクリックします。
2. Unified Managerに搭載されている機能を使用して、必要に応じてビューをカスタマイズします。
3. ビューをカスタマイズしたら、*ビュー*フィールドに一意の名前を入力し、チェックマークをクリックし

て保存します。



4. Microsoft® Excelの高度な機能を使用して、レポートをカスタマイズできます。詳細については、"Excelを使用したレポートのカスタマイズ"を参照してください。
5. レポートをスケジュール設定または共有する前に内容を確認するには、次の手順を実行します。

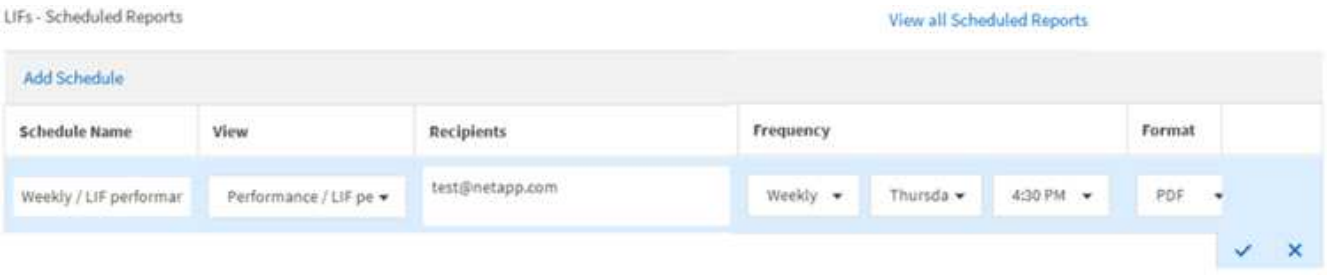
オプション	説明
Excelを使用してレポートをカスタマイズした場合	ダウンロードした既存のExcelファイルを表示します。
レポートのカスタマイズに**Excel**を使用しなかった場合	レポートを*CSV*、**PDF**、または*XLSX*ファイルとしてダウンロードしてください。

Microsoft Excel（CSV / XSLX）やAdobe Acrobat（PDF）などのインストールされているアプリケーションでファイルを開きます。

6. レポートの内容にご満足いただけましたら、*定期レポート*をクリックしてください。
7. レポートスケジュールのページで、*スケジュールを追加*をクリックします。
8. デフォルトの名前（ビュー名と頻度の組み合わせ）を受け入れるか、*スケジュール名*をカスタマイズしてください。
9. スケジュールされたレポートを初めてテストするには、*受信者*として自分自身のみを追加してください。内容に問題がなければ、レポートの受信者全員のメールアドレスを追加してください。
10. レポートの生成頻度と受信者への送信頻度を指定してください。毎日、毎週、*毎月*のいずれかを選択できます。
11. フォーマットは、**PDF**、**CSV**、または*XSLX*から選択してください。

Excelを使用してコンテンツをカスタマイズしたレポートの場合は、必ず*XSLX*を選択してください。

12. レポートスケジュールを保存するには、チェックマーク（✓）をクリックします。



テスト レポートがすぐに送信されます。以降、スケジュール設定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

Active IQ Unified Manager でインポートされた .rptdesign レポートをスケジュールする

以前のリリースのUnified Managerで作成およびインポートした既存のレポートをスケジュールできます。

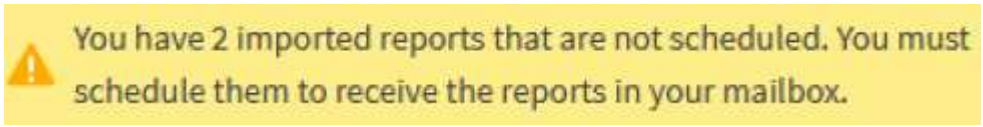
インポートしたレポートをスケジュール設定する場合の要件は次の通りです。

- 以前のUnified Managerリリースで設計し、インポートした.rptdesignファイル レポート
- Unified Manager 9.6 GA以降にアップグレードする場合に該当

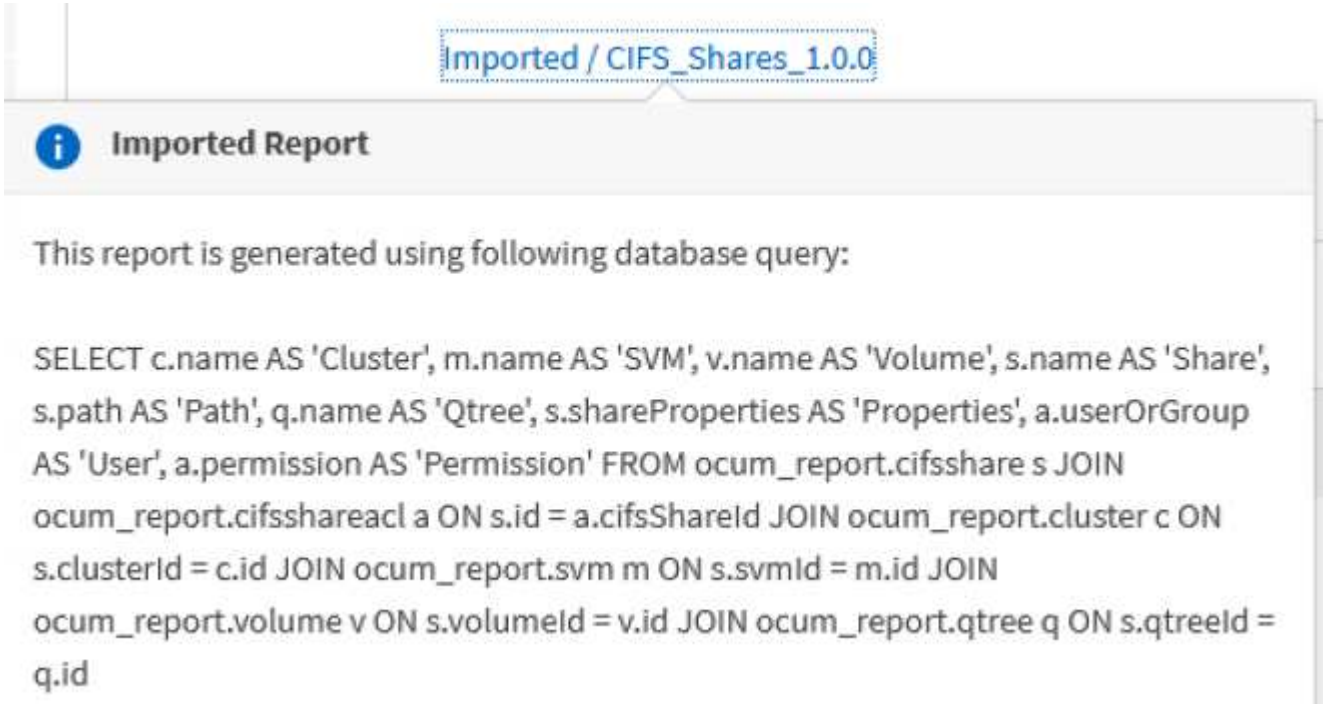
Unified Manager 9.6 GA以降にアップグレードすると、「レポートスケジュール」ページにインポートされたレポートが表示されます。これらのレポートのスケジュールを編集して、受信者のEメール アドレス、頻度、形式（PDFまたはCSV）を指定できます。これらの編集をしていないレポートは、Unified Manager UIで編集または表示できません。

手順

1. [レポート スケジュール]ページを開きます。インポートしたレポートがある場合、次のようなメッセージが表示されます。



2. 「View」名をクリックすると、レポート生成に使用されているSQLクエリが表示されます。



3. その他アイコン ⋮ をクリックし、「編集」をクリックして、レポートのスケジュール詳細を定義し、レポートを保存します。

不要なレポートは、その他アイコン ⋮ から削除することもできます。

レポートのスケジュールを管理する

Active IQ Unified Manager でレポートスケジュールを管理する

[レポート スケジュール]ページからレポート スケジュールを管理できます。既存のスケジュールを表示、変更、または削除することができます。

開始する前に

[レポート スケジュール]ページから新しいレポートをスケジュール設定することはできません。スケジュール済みレポートは、オブジェクト インベントリ ページからのみ追加できます。

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 > レポートスケジュール をクリックします。
2. [レポート スケジュール]ページで、次の手順を実行します。

状況	操作
既存のスケジュールを表示する	スクロール バーとページ コントロールを使用して、既存のレポートのリストをスクロールします。
既存のスケジュールを編集する	a. 使用するスケジュールのその他アイコン ⋮ をクリックします。 b. *編集*をクリックします。 c. 必要な変更を行います。 d. チェック マークをクリックして変更を保存します。
既存のスケジュールを削除する	a. 使用するスケジュールのその他アイコン ⋮ をクリックします。 b. *削除*をクリックします。 c. 操作を確定します。

Active IQ Unified Manager でスケジュールされたレポートを編集する

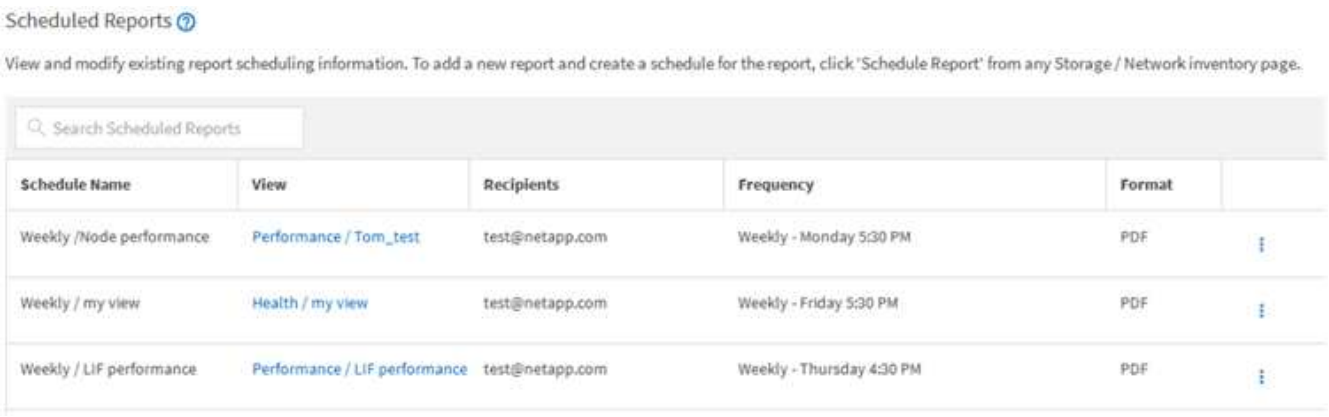
スケジュールを設定したレポートは、[レポート スケジュール]ページで編集できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 > レポートスケジュール をクリックします。



適切な権限があれば、システム内のすべてのレポートとそのスケジュールを変更できます。

2. 変更するスケジュールのその他アイコン ⋮ をクリックします。
3. *編集*をクリックします。
4. レポートスケジュールの*Schedule Name*、**Recipient***リスト、***Frequency**、および*Format*を変更できます。
5. 完了したら、チェック マークをクリックして変更を保存します。

Active IQ Unified Manager でスケジュールされたレポートを削除する

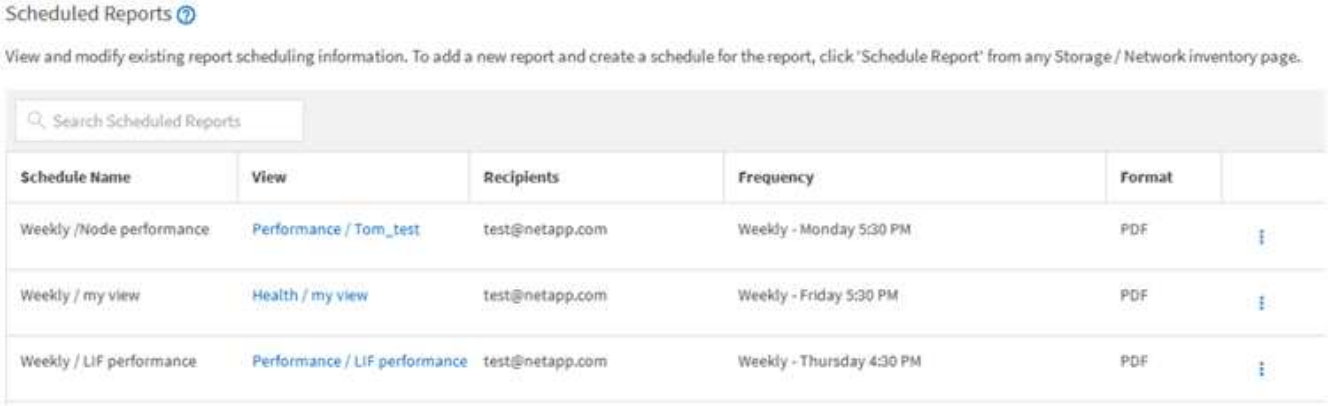
スケジュールを設定したレポートは、[レポート スケジュール]ページで削除できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 > レポートスケジュール をクリックします。



適切な権限があれば、システム内のすべてのレポートとそのスケジュールを削除できます。

2. 削除するスケジュールのその他アイコン ⋮ をクリックします。
3. *削除*をクリックします。
4. 操作を確定します。

   スケジュール済みレポートがリストから削除され、設定されたスケジュールで生成および配布されなくなります。

> インベントリ ページからカスタム ビューを削除すると、そのビューを使用するカスタムExcelファイルまたはスケジュール済みレポートも削除されます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。